

ダルウィッシュ・ホサム（JETRO アジア経済研究所、研究員、計画研究（B01）協力者）
Sudan-Egypt relations amidst shifting regional dynamics in the Middle East

第5回世界中東学会(World Congress for Middle Eastern Studies: WOCMES)が2018年7月16～20日にスペインのセビリヤ大学で開催された。WOCMESは2002年から4年毎に開催されており、今回で3回目の参加となった。

今年のWOCMESには約70か国から3,000人以上が参加し、中東研究に携わる研究者や大学教員と情報共有・ネットワーキングをし、各々の研究に関してアップデートする非常に良い場となった。

参加したパネルでは、中東・アラブ地域に民衆蜂起が広まった2010年から2011年以降のスーダンとエジプトの関係に焦点を当て、学習院大学のモハメド・アブディン特別客員教授と”Sudan-Egypt relations amidst shifting regional dynamics in the Middle East”という題で共同報告を行った。中東と「アフリカの角」地域ではこの数十年で国際関係のパワーバランスに大きな変換が見られ、これがナイル川周辺の国々、特にスーダンに対するエジプトの外交政策と、エジプトと湾岸アラブ諸国との関係にどのように影響を及ぼしたのかを検証した。WOCMESは中東・北アフリカ地域の国際関係に焦点を当てたパネルが複数企画され、多様な視点から中東地域の現状とその背景にある様々な問題を検証する有益な学会だった。